

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈中・24〉	いわき市立	玉川	中学校
〈実施日〉	平成27年 9月18日(金)			
〈実施教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。			
1 理科	②	学級活動	3 総合的な学習の時間	4 その他()
〈実践内容〉	対象「第3学年」体育館にて、パワーポイントを用いてプレゼンテーションを行った。			
○指導内容	(1) 放射線教育用学習教材DVD 構成劇「福島」の鑑賞。 (2) 放射線について知っていることはどんなことがあるか確認する。 (3) 放射線についての映像「放医研 放射線の知識と教養」の鑑賞 (4) 放射線について、教師の説明を聞く。 ① 放射線の利用について ② 自然放射線と人工放射線の違いについて ③ 放射線の被ばく量と健康について (5) 発表や教師の説明から、自然放射線やX線検査などを受けていること、線量は微量であること、放射線を受ける量はできるだけ少なくすることが大切であることを知る。			
参考にした資料	Science Window2011 秋号 放射線医科総合研究所 HP 知ることから始めよう放射線のいろいろ 放射線と健康 本当に私たちが知りたい 50 の基礎知識 (東京書籍)			
〈成果〉	事前アンケートでは、漠然とした不安が多いことが分かり、背景にはまだ正しい知識を身につけていないことがあると考えた。1、2年時に学習した基本的な事項から丁寧に説明することで、より正しい知識を身に付させることができた。医療や食品等、身近なところに放射線が利用されていることは知らない生徒も多く身の回りのものを取り上げたり、小名浜地区の放射線量や、食品の放射線量を資料の中に取りあげたりすることで、興味・関心を高めることができた。			
〈課題〉	今回は学年一斉授業という形をとったものの、教師の知識の差が大きく、まだ曖昧な部分が多いため、足並みをそろえて授業することが難しい。また、いわき地区にも9条区域外の生徒がおり、配慮も難しい。			
資料作成担当者職 (教諭)	氏名 (佐久間 基)	学校電話番号 (58-6711)		